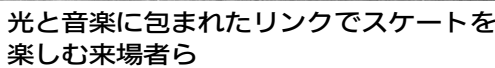


2月12日まで開催



今年から釧路市観光国際交流センターの前庭に会場を移した『くしうウィンターパーク2024』（中島仁実実行委員長）が20日（土）から開催している。会場には、全長360mの周遊コースに加えて、7万球のイルミネーションが装飾されており、光や音楽を楽しむながら滑走することができ、また、パーク内には飲食ブースやアウトドアショッ

プエロABによるキャンパ  
ベースなどが設置されてい  
るほか、昨年人気だったア  
イススライダーがさらに改  
良されるなど、本イベント  
はスケートを滑らない方で  
も楽しめる冬のアクティビ  
ティとなっている。

中島実行委員長は「冬場  
で家にも来がちになる子  
供たちにも遊ってもらい、外  
で遊ぶ楽しさが伝われば」と  
来場を呼び掛ける。

本パークは、2月12日ま  
での金土日祝日のみ開催し  
ており、入場は無料。金曜  
日は午後5～8時、土日祝  
日は午後3～8時まで営業  
し、毎日午後6時にはイル  
ミネーション点灯式が行わ  
れる。滑走料や貸しスケー  
ト料などの確認は公式HP  
やSNSから。

信用金庫の「釧路しんき地域貢献表彰制度」の地域貢献表彰を  
まちづくり計  
鐵道高架特別委  
地域開発委  
当所の鐵道高架事業推  
特別委員會（白崎章孝  
長）と地域開発委員會（  
市村平孝委員長）では、  
市が進めている釧路駅  
まちづくり計画の理解を  
めぐるため釧路市より担当  
長の青柳充保氏と室長の  
岡草氏を招き、委員會を  
催した。

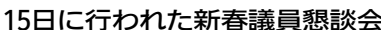
釧路市からは、計画策  
以降の進捗状況や令和6  
年度以降の見通し、釧路駅  
周辺の再整備方針について  
明が行われたほか、計画  
市民の声を反映させるた

まちづくり計画へ理解深める  
鉄道高架特別委 合同委員会を開催  
地域開発委

画へ理解深める  
合同委員会を開催

### 16日に行われた合同委員会

多様な過ごし方で暮らしを豊かにするまちづくり



振り返り、対策を講じなくてはならない」と危機感を示し、災害に対する備えの重要性について述べた。

続いて「昨年は、新型コロナウィルスが５類へと分類され、観光地や歓楽街は徐々に賑わいや活気を取り戻しつつあった。その一方で、世界情勢の不安定化や円安などに伴う、物価高や価格の高止まりが企業や家庭に大きな影響を与えた」と振り返った。

こうした中、当所では役員と今後の会議所活動の基盤となり得る地域課題や可能性を共有する新たな試みとして創商ミーティングを開催したほか、当所女性会

の年となることから「今求められていることをしっかりと見定め、英知と創意・工夫を結集し、次なる創造に向けて活力ある地域づくりと中小企業の振興・発展に向けて「仕掛ける」をキーワードに積極性と戦略性を持って活動していきたい」と力強く決意を述べた。

続く来賓祝辞では、銚路市長の秋里喜久治副市長が「昨年、銚路市が水揚げ量日本一になった。今後も明るい話題を1つでも積み上げ次の世代につなげるようにしていきたい」と述べた。

ほか、銚路総合振興局の木村英也局長は「地域産業の活性化や雇用の維持、活力

販路拡大・  
磨き上げ研究会  
**商談・相談会を実施**

釧路商工会議所と釧路市、釧路信用金庫が連携し、9月から実施してきた「販路拡大・磨き上げ研究会」の個別商談会・相談会が18日（木）に道東経済センタールールで開かれた。  
 本研究会は、身の丈で取り組める加工食品の販路開拓をテーマに毎年実施しており、全5回にわたる研修で、現役トップバイヤーと商品開発・販売戦略の専門家による、自社の強みを活かした商品開発や販路開拓の実践的なノウハウなどを学んできた。  
 今回の個別商談会・相談会は、研修事業の最終回として、事業者が学んだ成果を活かしながら、商談の経験を積むための実践の場とすることと、商品・販路について相談しアドバイスをもらうことを目的に実施したもの。  
 当日は釧路市の「地域談支援事業」も同時に開催され、研修会の参加事業者が、地方の商品や小規模加工事業者への理解が深まった小売店や百貨店、ネーブルサイトなどと合わせ7社のバイヤーと専門家の名と面談や相談を行った。参加した事業者は、各コースで自社商品売り込みとともに、販路に合わせ商品構成や魅力の高め方

PRの仕方などのアドバイスを受けた。

すでに商談先での販売取り扱いに向けて、具体的な商談や販売手法の相談に入っている事業者もあり、今

方は、早めに電話でご予約下さい。2月26日(月)まで随時受け付けています。

なお、申請に必要な様式4「事業支援計画書」の当所での交付受付は3月7日

商工会議所報 バック  
所 H P にて公開  
業活動やセミナー、経営支  
、様々な情報を発信してい  
ら閲覧できます。ぜひご覧

あるまちづくりに取り組ま  
れていることに敬意を表す  
と祝辞を寄せた。

中 優

入

北海道事業承継・引継ぎ支援センター  
釧路サテライトのご紹介

北海道事業承継・引継ぎ支援センターは、経済産業省北海道経済産業局から委託を受けて開設された公的機関です。

全道42商工会議所のネットワークや各支援機関・行政機関・金融機関等と連携し、事業承継に悩みの経営者、後継者に寄り添って支援を行います。札幌本部のほか全道8カ所のサテライトが開設されており、当所内に釧路サテライトが設置されています。

なお、公的相談窓口なので、**相談は無料、秘密厳守**で、**公平中立**な立場で事業承継について**ご相談をワンストップでサポート**いたします。

後、釧路市議会議長の乾邦に祝電を贈る。

今に煙  
した。  
年1年の決意を述べ、  
閉会

このような  
お悩みをお持ち  
の方はいずれも  
一度ご相談  
ください。

一緒に働いている子供に事業を引き継ぎたいが、何を準備したらよいかわからない・・・。  
事業を引き継いでくれる人や企業を探してほしい・・・。  
事業拡大のために、技術やノウハウ、人材を持った企業を引き継ぎたい。売却を検討している企業や事業主はいる？  
事業を引き継ぐことが決まったが、どんな手続きが必要かわからない。誰か教えてくだないだろうか・・・。

お申し込み・お問い合わせは 0154-41-4143  
北海道事業承継・引継ぎ支援センター釧路サテライト(当所経営相談課内)

## ご案内コーナー

### 第15回持続化補助金計画書確認は3/7まで

小規模事業者持続化補助金は、小規模事業者が経営を見直し、自らが持続的な経営に向けた「経営計画」を作成した上で行う販路開拓や生産性向上の取り組みを支援する制度です。

本補助金は公募・採択制で、補助金の上限は通常枠で50万円（補助率 $\geq 50\%$ ）ですが、賃金引上げ枠など200万円（補助率 $\geq 10\%$ ）までとなる場合があります。

原則電子申請で、申請締

め切りは3月14日（木）ですが、電子申請に必要なG  
 ビスIDを事前に取得する  
 必要があり、計画書等の作  
 成にも時間を要します。

当所経営指導員と計画書

**「令和6年能登半島地震」災害義援金  
 募金へのご協力方お願い**

令和6年能登半島地震におきまして、被災された皆様  
 に謹んでお見舞いを申し上げます。また、大変な状況  
 の中で、救助活動ならびに復旧活動にあたられている  
 皆様に深く敬意を表するとともに、1日も早い復旧・復興  
 を心より願っております。

現在、日本赤十字社では被災地の方々の生活を支援  
 するため義援金を受け付けておりますので、何卒ご支  
 援賜りますようお願い申し上げます。

!!  
に関するお  
議事報を

ご寄付の方法などにつきましては、日本赤十字社のHP(右記QR)をご覧ください。  
(URL <https://x.gd/A2NlO>)

## 18日に行われた個別商談会・相談会

釧路商工会議所 ホームページ

当所ホームページにて、各種支援金や当所主催のセミナーや検定など事業者のみなさまのお役に立つ情報を発信していますので是非ご覧ください。

釧路商工会議所報 バックナンバー  
当所HPにて公開中!!

当所の事業活動やセミナー、経営支援に関するお知らせなど、様々な情報を発信している会議所報を当所HPから閲覧できます。ぜひご覧ください。